



URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/富山銀行福光支店4階 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ふくみつ光房内 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

撮影 写真同好会 山田 孝会長



チューリップ公園のイルミネーション

第2533回例会 令和元年12月24日(火) 曇り

- ◆点 鐘 12:30 川合声一会长
- ◆司 会 吉田 実 SAA
- ◆ソング 「それでこそロータリー」

◆会長の時間 川合声一会长

今日は食品ロス削減についてお話しします。一般、県主催食品ロス・食品廃棄物削減県民会議が開催、メーカー側委員として参加しました。その内容を伝えます。

富山県の食品廃棄物実態ですが、製造・小売・卸・外食など事業所からの廃棄物発生量は82,000 t そのうち可食部分一規格外・売れ残り・返品・食べ残しが16,000 t。一方、家庭から出る廃棄物は88,000 t で、そのうち可食部分一食べ残し、手付かず商品などが27,000 t。食品廃棄物に占める食品ロスの割合は19.4%—全国は17.4%で富山県は全国平均以上。

その食品ロスの発生量を見ると、外食産業から36.3%で一番大きく、次に、製造業から30.4%。

一般家庭から廃棄物について、アンケート調査からですが、88%の家庭で「賞味消費期限切れの手つかず食品」が廃棄。その理由で「購入したことを忘れてしまい、期限切れになる」が61.5%で一番多い。また、買い物の際には61.5%方は賞味消費期限を確認して、期限の早い商品を購入。

さて、これらの食品ロス削減のための方策—取組み指針として、商慣習の見直しなどメーカーや卸小売りなど協働しての取り組みがなされている。

○卸小売業サイドでは、納品期限の緩和—1/3ルールから1/2ルール。賞味期限3か月の商品の納入期限は30日を超えたものは納入拒否が45日まで可能に。

○小売業でも販売期限を延ばす、売り切りの実施で値引きして売り切る、総菜などのタイムサービスなど。

○メーカーサイドでは包材など遮光性の高いものにして、期限を延長。賞味期限の年月表示で缶詰や飲料・瓶入りの品など。

○消費者サイドでは、表示についての正しい知識・認識の啓蒙として、商品は手前からとる、すぐ食べるものは見切り品を活用—タ方のスーパーに出かけての皆さんの行動は? 私は率先して、値引きシールの貼ったおかずを購入しますが・・・?

消費期限と賞味期限の違いを知る。ある程度は欠品も仕方ないという意識をもつなど消費者の皆さんにも食品ロス、勿体ない意識を持って貰う等を要請していく、というのが特徴的です。

そこで私たちロータリーアンとして具体的に取り組むことは何か? と言ことですが・・・。

たまたま、この県民会議に、旅館ホテル側の代表として参加していた、東となみRCの坂井会長から、みんなで3015運動の成果について発言。確かに、宴会の開始時に、この運動を紹介、お膳を引き上げる時には確かに食べ残し量が目に見えて減ったとのことです。

この3015運動とは立山連峰標高3015mにちなんで命名。富山



県販食品ロス削減運動です。他の県では聞いたことのない運動。幹事さんの呼びかけとして、まずはお店と相談して適量を注文—宴会の目的や出席者の年齢や男女比率など相談する。初めのあいさつで、30分は席を立たずにできたての料理を楽しみましょう。宴会終了の15分前、自分の席に戻って、もう一度、料理を楽しみましょう。

皆さんも各種会合の会長やお世話をしておられる、幹事役にも、ぜひ、この3015サンマルイチゴ運動を広めていきましょう。会議でもこの運動の認知度も西高東低でなく、東高西低で県東部の方が広がっているようです。県全体で広げていく、大切なことです。

◆幹事報告 山田 孝幹事

- ① G事務所より、「2022-23年度ガバナー決定宣言」黒川伸一君
- ② G事務所より、「首里城火災に対する支援金のお願い」お一人100円程度。
- ③ G事務所より、「2020学年度米山奨学生世話クラブ募集」の案内
- ④ 小矢部RC、新湊RC、砺波RCより例会変更のご案内

◆ロータリー財団からの記念品、授与伝達

尾山裕和、宮川功、石崎和三、高野実、久恵龍三、水口秀治、岩木貴之の各君

◆富士見RC栗島平氏より写真戴きました。 荒井友好委員長

富士見RC 45周年訪問時の集合写真が送られてきました。該当の方にお配りいたしました。

☆ニコニコボックス 12/24 山田喜代美委員長

片山道君 明日からKENKO CUP全国大会へ行ってきました。息子と娘のサンタさん、一日早くサプライズ。息子はケーキと妹にプレゼントをし、黙って帰って行きました。妹は、家族の枕元にプレゼントを。心温まる贈り物に感謝です。

川合君 今年最後の例会になりました。谷口さん卓話楽しみです。荒井君 皆様令和元年お疲れ様でした。どうぞ良いお年をお迎えください。

松井君 前期最終例会、会長はじめ、各々の役割ご苦労様です。新しい年も共に元気で!!

尾山君 年末は最後まで過密スケジュールです。忘年会あと3回。31日は生駒聖天(奈良県生駒市)にお礼参りです。

松本君 令和元年も少しになりました。持続可能な開発計画SDGS、持続可能会社を目指して? Goodな年を迎えましょう。

松村君 家や庭の雪囲い完成して雪を待っています。早く降れ!

税光君 今年もあと僅か、気ぜわしく感じているのですが、思う様に仕事が進みません。早退します。

片山浩君 今日はクリスマス・イブです。谷口君の卓話楽しみです。

野村君 慎ちゃん がんばれ!! 谷口さん楽しみです。

石崎和君 メリーX'mas!

木村君 干柿はまだ終わらず、寝不足の連日であります。巷ではクリスマスだけけど…。毎日イスに座ったまま眠ってしまう状態です。

大西君 今日はクリスマス・イブ!! こんな雪の無い年のイブは覚えがありません。谷口さんの卓話楽しみですが…早退します。

久恵君 忘年会、今日で5連荘、あと2回ガンバリマス。

岩木君 あっという間の1年でした。皆様よいお年を!!

牧 君 令和元年の例会も今日で終了です。ありがとう。

船藤君 本年最後のニコボックス投函です。

山田清君 メリークリスマスで、今日は車に衣装を積み込んで、着たり脱いだりの1日です。

森雄君 今年最後の例会です。皆さん良い年をお迎え下さい。

山田喜君、中田裕君/ 谷口さん、卓話楽しみます。

木勢君 早退します。

本日のプログラム 1月8日(水) 第2534回

《例会変更》 新年懇親会 みや川

担当 親睦活動委員会



今日は厚生労働省「ものづくりマイスター制度」をご紹介します。お手許の方にパンフレットがあると思いますが、現在富山県に、認定されておられるマイスターは201名登録があります。

厚生労働省では、若年技能者の技能の向上、技能振興機運の醸成等を図ることを目的とした「若年技能者人材育成支援等事業」を平成25年度から開始しました。この事業は、建設業と製造業が対象で優れた技能と経験を持つ「ものづくりマイスター」が、中小企業や教育訓練機関の若年者に対して実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行う事業を柱としています。次のような認定基準に該当する高度な技能を有する方を募集しています。

仁玉様
レリーフ



1 技能検定の特級・1級・単一等級の技能士及び同等の技能を有する方、技能五輪全国大会の成績優秀者（銅賞まで）のいずれかに該当する方→技能検定に係るポータルサイト「技のとびら」はこちらから

2 実務経験が15年以上ある方
3 技能の継承や後継者の育成に意欲を持って活動する意思及び能力がある方
〈申請資格〉



銅製「折鶴」

1 応募時に、第三者からものづくりマイスターにふさわしいとして推薦を受けられること
2 認定を受けた場合、プロフィール・指導内容等の公表が可能であること

職種といいますと、建設業及び製造業における111職種を対象に、高度な技能を持った「ものづくりマイスター」が技能検定や技能競技大会の課題等を活用し、中小企業や学校において広く実技指導を行い、効果的な技能の継承や後継者の育成を行っています。また、「ITマスター制度」では、ITリテラシーの強化や将来のIT人材育成に向けて、情報技術を使いこなす職業能力を付与するため、情報技術関連の優れた技能を持つ「ITマスター」が、中小企業や学校において広く講習等を行っています。両者ともに、小中学校等での講義や「ものづくり体験教室」等により、ものづくりやITの魅力の発信も行っています。

私は今、建築板金の技能士会の会長をしていますが、14名が認定を受けています。また、富山県技能士連合会というのがあり副会長を務めています。そこへ学校とか教育委員会から、ものづくりマイスターを呼びたいと言う電話がありまして、該当する職種(左官なら、泥玉を捏ねて下地に塗ったり、石工なら勾玉のようになるように削ったりとか)の方が、子供たちが体験できるように教えます。それと共にやっているのが「ものづくり体験教室」8月に砺波のコカコーラさんでサマーフェスティバルが行われますが、その中でブースを借りまして、開発協会が主となって体験教室を行っています。殆どが若い親子連れで、整理券は直ぐ定員になってしまいます。それと毎年11月頃に環境フェアと言うのをやっている。そこでも同じように子どもたちにいろんな体験教室をやっています。富山と高岡のテクノホールで1年毎に開催されております。銅版の上にキャラクター等を書いた紙を張り付けて、上からなぞって陰陽をつけたり、ハップ液に浸けたりしてレリーフを作製するなど体験する。若手の技能士が教える楽しさも経験する良い場でもあります。ある学校では、卒業作品として毎年指導に行く所もあります。持参した「折鶴」等はやり直しがききませんので、同業の方とお互いの物を工夫しています。

◆出席報告

久患龍三委員長

会員数	12月24日出席率	12月10日の修正
49 (免除0)	67.34% (欠16)	73.47% (欠13マーク0)

メキップ: 澤田喜朗君。

厚生労働省

ものづくりマイスター制度のご案内

熟練技能者の高齢化や若年者を中心としたものづくり・技能継承が懸念される中、技能尊重機運の醸成や産業活動の基礎となる技能者の育成が必要とされています。

ものづくりマイスターの派遣コーディネートは、都道府県技能振興コーナーが行います。

無料!

ものづくりマイスターの派遣費用や指導にかかる材料費は、規定の範囲内で都道府県技能振興コーナーが負担します。詳しくは、都道府県技能振興コーナーにお尋ねください。

ものづくりマイスターはどんな人?

指導を受けられるのはどんな人?

学校の授業等への派遣

【印章彫刻】

受入団体からの声
仕事の空から、漢字の語まで幅広くお話をいただきました。弊一席で活躍している職人さんに直接教えられることは資料とっていい経験になります。体験では集中して製作し、達成感を味わい、職人さんの熱心な指導を体験しました。

受講者の声
彫るの難しかったけれど、分かりやすく教えてくれて勉強になりました。彫りかたの彫り方や、失敗したときは手伝ってもらえて、完成した時はうれしかったです。実習の意も勉強になりました。あいう(印章彫刻)仕事をやってみたいです。

ものづくりマイスターの感想
文字やハンコの歴史や成立も学び、受講者がデザインしたものを彫る体験をおこないました。彫る際には集中して彫り始め、彫り終わるには息を吐き、マイスターが指導をします。その姿をみて、ものづくりの楽しさや技術の深さを体感してもらえていると感じました。今後もお客様に喜んでもらえる彫刻を製作する(彫る)気持ちを保ちたいです。
協力: 富山県技能振興コーナー

事業所見学

【水産練り製品製造】

受入団体からの声
工場見学で、ガラス越しに工場内を覗き込むと現場は興味深々で楽しそうに見学できていました。実演では、思いがけずまねごとで魚が成形され、切り開くと思いがけずきれいに崩れ、感動していました。

受講者の声
(詳細)
学校に戻るとマイスターの方々が教えてくださった技術を早速や家庭に持ち帰っていました。ものづくりの面白さを知り、機械化されたラインをみることも出来、大変素晴らしい経験でした。
(児童・生徒)
マイスターの実演がとても丁寧な作業でびっくりしました。色々なものを完成させることができ、とても楽しかったです。特にマイスターさん達がまねごとや機内で作るところが楽しかったです。

ものづくりマイスターの感想
実演中、児童は目をキラキラさせて見ていました。実演後は質問も沢山出て、熱心・熱心さが伝わって喜んでいました。今の気持ちや思いを、ものづくりを通じて伝えてもらい、将来に活かしていただきたいと思っています。
協力: 宮城県技能振興コーナー

地域若者サポートステーションへの派遣

【玩具製作】

受入団体からの声
実際にものづくりを体験することにより、働くことへの興味を高めることができました。ひとりひとりにわかりやすく丁寧に指導して頂き、大変感謝しております。

受講者の声
小座布巾製作で、具材を均等にカバーの中に入れる作業がとてもむずかかったですが、マイスターが、一緒に作業しながらやり方を教えてくれました。指先を使ってたたきながら作業すると、きれいに入れることができました。

ものづくりマイスターの感想
開始前に、仕事の辛さや楽しさについての質問があり、就業に対する理解が深かったと感じています。
過労性の働きや高生・保育に適したエコ素材だということもアピールでき、空気の意見交換ができました。
協力: 福島県技能振興コーナー

職場体験実習

【紙器・段ボール箱製造】

受入団体からの声
職場体験から達成感や充実感だけでなく、仕事の楽しさも学びました。さらにマイスターの方との話し合いから翌日の勉強会を持ち、それを機に活動を振り返ることで自己理解を高め、将来の夢に向かい自ら高められる気持ちを育むことにつながりました。

受講者の声
今回の職場体験で自分の身の回りにある全てを、誰かが一生懸命作っているという事が分かりました。ものづくりへの関心を高められたので、今後この経験を活かし更に高めたいと思えました。従業員の方がとても優しく教えてくれたので、作業も楽しく、人の手と大切さを再認識する良い機会になりました。

ものづくりマイスターの感想
製品づくりだけでなく、一連の作業を通して、仕事に対する責任や心遣いを学んでもらうとともに、実際に粘着の手作り体験を指導する中で、一つ一つに込められたものづくりの意義を知ってもらい、どんなに機械・コンピュータ化されても商品に魂を入れ、心のこもった「ものづくり」に励むことを理解してもらいました。
協力: 石川県技能振興コーナー

次回の予定 1月14日(火) 第2535回例会
卓話テーマ「職業奉仕とは」 木村 準氏 (株日本抵抗器製作所 代表取締役社長) 担当 会員 荒井 進君

(今回の会報担当・牧千収)